

令和4年6月30日

各 位

会社名 株式会社 R I S E
代表者名 代表取締役社長 芝 辻 直 基
(コード番号 8836)
問合せ先 コーポレート統括部 経営管理部
担当部長 杉 山 顕 士
(TEL : 03-6632-0711)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、令和4年6月29日付で関東財務局に提出いたしました令和4年3月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨、記載いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、令和4年3月期に関する決算作業の過程において、令和2年3月期に子会社化したFREアセットマネジメント株式会社の取得時の連結決算処理において、保有する不動産の時価評価に伴う税効果の会計処理について誤りがあったことが判明いたしました。当該誤謬は、土地再評価差額金の取り崩し処理を実施していましたが、それに伴う再評価に係る繰延税金負債の戻し処理、負ののれん発生益の計上が欠落しており、損益に与える影響もあることが判明いたしました。

時価評価に伴う連結上の税効果に関する会計処理については十分に検討を行いましたが、結果としてその検討手続きに不足があり、当該会計処理の訂正に至ったことは、時価評価に伴う連結上の税効果の処理方法に関して必ずしも十分な専門知識による確認がなされたとは言えないことから、決算・財務プロセスに関する内部統制上、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

上記事実の特定は、当事業年度末日以降となったため、当該開示すべき重要な不備を当事業年度末日までには是正することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、重要な非経常取引である連結決算における税効果に係る会計処理の適用に関し、関連する勘定科目の動き及び残高内訳を把握する資料を作成し、妥当性を確認し、誤りが発生しないように進めることとします。また、現在のチェック体制を複数の管理者によるものとし、決算・財務報告プロセスの整備・運用の更なる強化を図り、財務報告の信頼性を確保してまいります。

4. 連結財務諸表および財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な訂正は、全て連結財務諸表、四半期連結財務諸表に反映しております。

5. 連結財務諸表および財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見です。

なお、令和4年5月13日付で、令和2年3月期および令和3年3月期の内部統制報告書の訂正報告書（開示すべき重要な不備）を関東財務局に提出しております。

以 上